

伸び続ける子が育つ！ お母さんへの60の言葉

高濱正伸 （青春出版社 2013.11.）

著者は「花まる学習会」の代表者。著書も多く、数々の事例から子育てに関する提言を続けている方です。本書の中で特に印象深く感じた箇所を紹介します。

◆「あと伸び」するのは、**幼児期にとことん遊び**こんだ子

◆料理は刃物や火など危険なものを扱って集中力を養い、盛り付けで工夫をし、最後には「食える」。**喜びで終われる**のがいい。台所は、基本的に毎日お母さんが立つ場所だし、男の子でも女の子でもお手伝いしやすいもの。**イメージ力**を鍛え、**集中力**を鍛えるという意味では台所は最適な場所。

◆「**苦手**」という言葉が出た時点でアウト、と思って下さい。子どもたちは言い放って、**やらなくてすむ理由**づけをしているにすぎない。「苦手だからしょうがないでしょ」といったような甘えが出てしまっているのです。(略)でも、これは子どもだけが悪いのではありません。実は長い間、お母さんが苦手意識を植えつけている場合が多い。

◆学校の宿題を早く終わらせたい時に、どう声がけしたらいいのでしょうか」と、技術を知りたがるお母さんが多いのですが、技術ではありません。生活に**テキパキ感**、**スピード感**をつけていくことで変わっていくのです。トロトロしている子どもには、「何やってんのよ、早くしなさい」と言いながら、お母さんも最後の最後に手を出して助けてしまっているはずです。